

令和4年度 第4回全国健康保険協会静岡支部評議会議事録

開催日時：令和5年1月17日（火） 14：00～15：30

開催場所：全国健康保険協会静岡支部会議室

出席者：足立評議員、石川評議員、藤本評議員、古川評議員、
増田評議員、望月評議員、森下評議員、山田評議員（五十音順）

議 事：1. 令和5年度保険料率について
2. 令和5年度静岡支部事業計画及び保険者機能強化予算について

○議事の経過

1. 令和5年度保険料率について

資料1-1、1-2、参考資料1に基づき、事務局より説明。

〈評議員〉

協会けんぽの場合は、他保険者と比べて制度的に不利な立場のため国庫補助があると理解しているが、健康保険組合や共済組合にも国庫補助はあるのか。

（事務局）

財政的に非常に厳しい保険者には一部補助は出ていますが、基本的には健康保険組合や共済組合には国庫補助は出ていません。

〈評議員〉

健康保険組合が解散して協会けんぽに入ってくる場合、協会けんぽが財政面で不利益を被る場合があるのか。

（事務局）

健康保険組合が解散した場合、協会けんぽが全て承継することになりますが、協会けんぽへの編入の際には、準備金の確保などの条件があります。そのため、財政面で不利益になるとは一概には言えません。

〈評議員〉

事業主の立場としては、保険料率は低いに越したことはないが、現状の情勢を

見ると10%維持は致し方ないと思う。

〈評議員〉

過去には、激変緩和措置の考え方が保険料率算定に組み込まれていたが、現在は解消されているのか。

(事務局)

協会けんぽ発足により都道府県単位保険料率となり、地域の医療費に基づいて保険料率を算出することとなったため、急激に保険料率が変化する事態となりました。そのため、10年間の期間で激変緩和措置を設けていました。この激変緩和措置は令和元年度末で解消しています。令和2年度からは新たな仕組みとしてインセンティブ制度が保険料率算定に組み込まれています。

〈評議員〉

高齢化により1人当たり医療費が伸びていくことが予想され、保険料率が上がる方向には避けられないが、インセンティブ制度等をうまく活用し、保険料率が上がらないよう努力していただきたい。

〈議長〉

令和5年度保険料率については、承認ということによろしいか。

〈評議員一同〉

異議なし。

2. 令和5年度静岡支部事業計画及び保険者機能強化予算について 資料2、資料3に基づき、事務局より説明。

〈評議員〉

効果的なレセプト内容点検の推進について説明があったが、点検の推進にあたり必要な人員体制はとられているのか。

(事務局)

レセプト点検員を中心に実施しており、医科で13名、調剤で3名、歯科で2名配置しています。

〈評議員〉

特定健診の受診率は、コロナの影響により低下していると思われるが、最近は回復傾向が見込まれているのか。また、K P I も最近の情勢を踏まえて設定されているのか。

(事務局)

コロナ禍では令和2年度が一番影響を受けており、特定健診受診率21.6%と下がりましたが、令和3年度は24.6%と回復傾向にあります。K P I の設定については、国の目標を達成するために、協会全体のK P I が設定され、支部のK P I も連動する形となっています。少しハードルの高いK P I となっていますが、支部として努力してまいります。

〈評議員〉

ジェネリック医薬品の使用促進については、供給不足の問題が解決されておらず、難しい状況であるが、何か具体的な対策を計画されているのか。

(事務局)

協会の全支部がジェネリック医薬品使用割合80%を達成できるよう各支部が努力しているところです。静岡支部では、令和3年度にパイロット事業として実施した系列薬局の経営層に向けたアプローチが全国展開へと発展していますので、この系列薬局の経営層へのアプローチを引き続き実施していく予定です。

〈評議員〉

加入者への健康増進に向けて保健事業を中心に実施計画されていると感じた。健康意識の高い方は問題ないので、自身の健康にあまり関心の無い方へのアプローチが重要だと思った。どのアプローチが本人にささるか分からないので、様々な方法を試していただきたい。

(事務局)

静岡支部の事業所数は6万5千近くあり、事業所ごとに様々な課題を抱えているため、画一的な取り組みが難しいと感じています。そのため、保健事業については様々なバリエーションを用意して推進していきたいと考えています。

〈評議員〉

健康課題があり医療費もかかる高年齢層への介入も大事だが、若年層へのアプローチも大事だと考える。健康なので自分には関係ないと思っている若者が多いが、若いうちから健康の大事さを伝えることにより、長期的にみて医療費の適正化につながるのではないか。

（事務局）

貴重なご意見ありがとうございます。ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを適切に使い分けて、加入者全体の健康増進を図ってまいります。

〈議長〉

令和5年度静岡支部事業計画及び支部保険者機能強化予算については、承認ということによろしいか。

〈評議員一同〉

異議なし